

## Ⅲ 各種業務の状況

## (1) 医療福祉課

- ① 職員体制 精神保健福祉士10人(正規8人・会計年度任用3人<うち1人はデイケア業務>) 臨時事務職員1人

### ② 活動内容

医療福祉課は、①地域連携室として受診・入院相談の窓口 ②入院・外来の精神保健福祉士としての業務 ③患者相談窓口としての業務を行っている。どの業務にしても、受診・入院から退院、地域定着と切れ目ない支援構築をめざして、当事者のニーズを大切に生活支援・院内多職種間のパイプ役・当院と関係機関とのパイプ役を意識して業務を行っている。

令和4年4月から、群馬弁護士会の協力のもと『院内法律相談会』(1回/月)をはじめた。

また、移送制度では精神科救急情報センターとの連絡調整や支援会議設定の窓口も行っている。院内の情報を外に発信し、外の風を院内に入れることを課として心がけている。

#### ○個別援助内容

単位：件

業 務 内 容	援助延べ件数
①受診・入院援助	1,131
②退院援助	1,604
③情緒的問題援助	137
④家族問題調整	159
⑤経済問題援助	701
⑥住宅問題援助	224
⑦療養上の問題調整	4,706
⑧その他(就労支援他)	2,436
合 計	11,098

#### ○その他

単位：件

業 務 内 容	援助延べ件数
⑨家族会援助	17
⑩関係機関との連絡調整	3,468
⑪支援会議等	183
⑫実習生支援等	84
合 計	3,752

### ③ 業務実績

全体的には大きく変化はなかった。退院支援のための外出や外泊、家族や支援者との面会等の制限が緩和され、当事者に不利益のない形で退院支援や地域との連携をとれるように意識して業務を行った。なるべく、病院の外に出るような機会や外部の人との交流の機会を設けるようにした。

(※患者相談窓口の業務に関してはⅢ-(12))

#### ○援助手段別

単位：件

項 目	援助延べ件数	
面 接	患者	3,717
	家族	1,278
	その他	1,059
電 話	患者・家族	2,561
	その他	3,762
文 書	患者・家族	163
	その他	489
合 計	8,919	

群馬県では、措置入院者の退院後支援についての仕組みは『群馬モデル』として実施してきた。その一環として当院では、夜間休日の警察官通報等の受け入れを行っている。そういったケースに関しては、退院時の支援の一環として支援会議を行っている。今後『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム』の定着へむけて県内精神科病院や精神科診療所・地域機関との連携をより一層充実させていく必要性や、新しい長期入院者が生じないよう、多職種チームの中で精神保健福祉士として退院支援技術の向上、地域の関係機関との有機的連携の構築・継続がこれまで以上に課題である。当院の新たな取り組みとして、令和4年度よりアウトリーチを試験的に開始。多職種と協働して少しずつ実績を積み上げている最中であり、システム化へむけて準備をすすめている。

医療観察法病棟における精神保健福祉士業務では、県外入院者の退院調整がすすみ、県内の対象者が増えてきた。医療観察法対象者の受け入れについては、保護観察所と協働して情報の共有や研修・会議の中で開拓をこれまで同様に行っている。

今後は、『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム』の広がりにあわせて、これまで以上に外来患者への支援体制を院内外で構築できるように動いていきたい。

## (2) リハビリテーション課

### ① 職員体制

#### ◎ 作業療法部門

作業療法士 6 人(正規 6 人)、急性期病棟群・リハビリ病棟群、及び外来と医療観察法病棟(専任 1 人、兼務 1 人)を担当している。

#### ◎ デイケア部門

看護師(正規 2 人、会計年度職員 1 人)、精神保健福祉士(会計年度職員 1 人)、公認心理師(会計年度職員 1 人)のうち 4 人が専従、医師(正規)1 人が兼務で担当している。

### ② 活動概要と主な取組

- 精神保健福祉法及び医療観察法対象者への精神科作業療法(入院、外来)及び精神科デイケア(大規模デイケア、ショートケア:50 人)の実施している。

- 臨床実習生及び研修生の受入

#### ◎ 作業療法部門

作業療法学生 4 人

(前橋医療福祉専門学校、群馬パース大学、群馬医療福祉大学)

#### ◎ デイケア部門

研修医 39 人

医学生 5 人

PSW 学生 5 人

CP 学生 2 人

精神科看護認定看護師 1 人

看護学生 11 人

- 多職種チーム治療プログラムの実施

#### ◎ 作業療法部門

・疾病教育プログラム「生活のコツ」(統合失調症・双極性障害:計 39 回)

・疾病教育プログラム「薬の話」(計 26 回)

・社会生活力プログラム「しっとく会」(E 棟 4 クール、G 棟 4 クール)\*1 クール 10 回

・知って得するコーナー(A 棟 9 回・B 棟 3 回)

・転倒予防体操:1,084 回実施した。

#### ◎ デイケア部門

健康教室 12 回、SST26 回実施した。

- 各種会議・委員会への出席

#### ◎ 作業療法部門

支援会議

MDT・CPA 会議

#### ◎ デイケア部門

群馬県デイケア連絡会議

○ 作業療法週間プログラム（令和5年度11月～）

		月	火	水	木	金
午前	外来 一般病棟 (病棟外 OT)		パラレル OT	農耕	疾病教育 (薬の話)	スポーツ 疾病教育 (生活のコツ)
	一般病棟 (病棟内 OT)	全体ミーティング (A) 創作・体操 (B2)	創作・体操 (E1・E2)	かたり場 (A)	創作・体操 (A/B1・B2)	創作・体操 (A)
	医観法 病棟	グループ OT	園芸	パラレル OT	※	※
午後	一般病棟 (病棟内 OT)	創作・体操 (E1・E2/G1・ G2)	創作・体操 (G1・G2) 全体ミーティ ング(B)	創作・体操 (B1・B2/G1)	しっとく会 (G1・G2) 創作・体操 (E1・E2)	しっとく会 (E1・E2) 創作・体操 (B1/G1・ G2)
	医観法 病棟	ホテワーク	※	※	※	※

※面接、個人 OT、散歩付添、外出/外泊付添、各種会議等

棟内外作業療法週間予定は、プログラム内容の充実に向けて内容の評価・分析を行っている。

○ 作業療法延べ参加者数とレセプト請求件数（実施日 234 日）

		R5 (A)	R4 (B)	増減 (A-B)
参加者総数(人)	入院+外来	16,425	19,293	944
	1日平均	67.5	82.4	5.7
レセプト 請求数(人)	入院	12,652	14,929	▲19
	外来 (うち医・通)	180 (0)	182 (0)	147 (0)
	合計	12,832	15,111	128
	1日平均	52.8	64.5	1.9

○ 医療観察法病棟作業療法プログラム実施回数

	R5 (A)	R43 (B)	増減 (A-B)
面接／個人 PG	361	386	▲25
集団 PG	382	330	52

◎ デイケア部門

- ・ 新規利用者は 11 人。再加入者は 22 人だった。
- ・ 復学・就労移行者は、6 人だった。

○ デイケア実施件数

	R5 済 (A)	R4 済 (B)	増減 (A-B)
実施日数	242	243	▲1
デイケア参加者数(一般)	2,385	2,221	164
ショートケア参加者数(一般)	807	936	▲129
デイケア参加者数(医療観察法)	0	0	0
ショートケア参加者数(医療観察法)	0	0	0
病棟(体験)参加者数	5	5	0
延べ参加者数	3,348	3,203	145
レセプト請求数	3,296	3,161	135

※医療安全対策としてデイケア利用者は院内防災訓練に参加した。

### (3)心理判定課

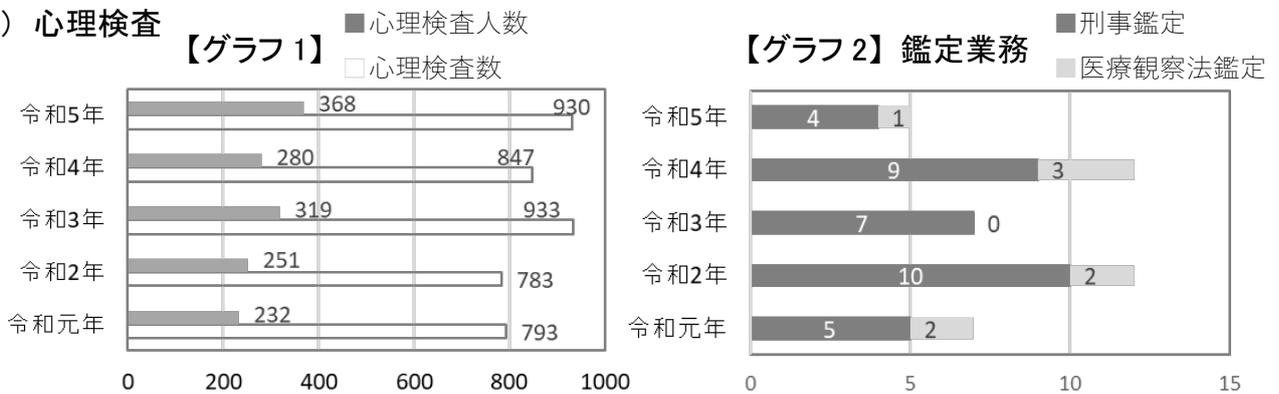
#### ① 職員体制

正規職員 4 名と実務研修生 1 名の計 5 名体制である。医療観察法病棟には 1.5 名(専任の正規職員 1 名と一般病棟との兼任正規職員 1 名)、急性期病棟・リハビリ病棟・外来(医療観察法通院処遇を含む)は職員 2.5 名と実務研修生 1 名で担当した。

#### ② 活動内容

心理判定課の業務は、1)心理検査と 2)心理療法に大別され、心理療法は構造的なものと非構造的なものに分けられる。また、心理療法には多職種と協働して行われる多職種プログラムも含まれている。心理士と患者で行われる非構造的な心理療法には、看護と協働して実施している心理看護合同面接も含まれる。その他、チーム医療の一員として、多職種チーム会議への参加や、医療観察病棟対象者の外出・外泊付き添いなどの業務もある。

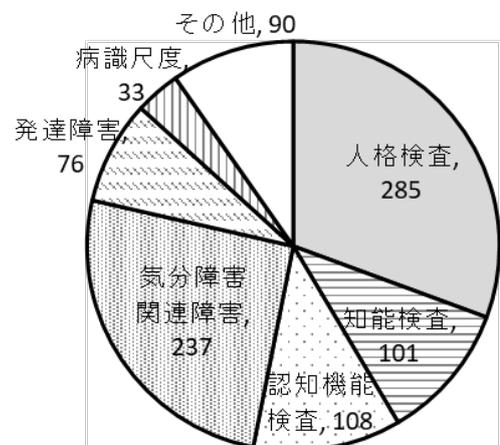
#### 1) 心理検査



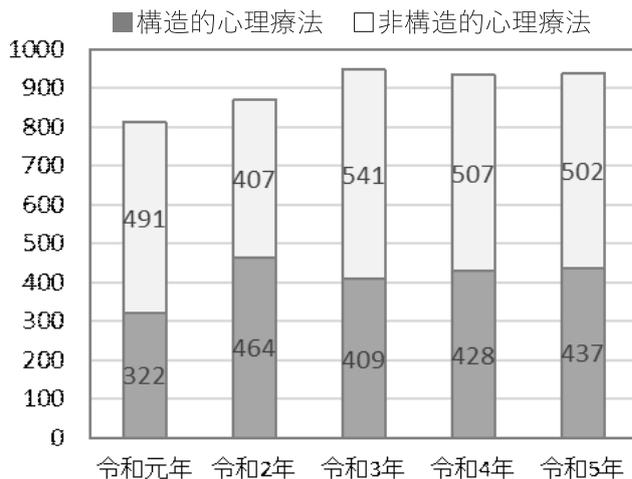
心理検査を実施した対象者数は 368 名で、検査総件数は 930 件であった【グラフ 1】。前年度と比較して、対象者数は 134%、心理検査数は 110%と増加した。検査対象者には、鑑定業務(刑事鑑定・医療観察法鑑定)の 5 名も含まれ、鑑定業務に関しては前年度と比較して 42%と減少している【グラフ 2】。検査依頼の主な目的は診断補助で、複数のテストバッテリーを組んだものが多い。また、医師からの依頼や本人希望により、本人用の心理検査レポートを作成し、心理検査フィードバック面接を R5 年度は 47 名に行った。

なお、心理検査数には、新規外来スクリーニングや疾病教育プログラムの事前事後アセスメントも含まれている。疾病教育プログラムのアセスメントの主な目的は、多職種チームで実施しているプログラムにおいて、対象者の状態像や課題の共通認識にある。実施した心理検査種別については【グラフ 3】の通りである。

【グラフ 3】 心理検査種別



## 2) 心理療法



構造的な心理療法には、各種疾病教育プログラム、内省プログラム、WRAP(元気回復プログラム)、回数や内容が予め決められた認知行動療法が含まれる。非構造的な心理療法は、主に個人を対象とした心理カウンセリングで、医療観察病棟で行われている集団による茶話会も含まれる。

主体的な対処法の獲得を目的とした疾病教育プログラムでは、統合失調症・気分障害をはじめ、発達障害・

物質使用障害、ゲーム・ネット依存に関する心理教育を行っている。また、怒りのコントロールプログラムやバランス思考講座、やわらかあたまプログラムなど、認知や行動変容を促すプログラムも実施している。

個人を対象とした心理カウンセリングは、医療観察法処遇対象者や一般医療における治療困難者に対して、多職種チームで課題を絞り、個別の問題解決に向けて実施している。令和5年度の心理療法総数は計939回とほぼ前年度と同等であったが、構造的、非構造的な心理療法の比率に関しては、前年度と比較して構造的な心理療法が増加している。

## 3) 多職種チーム会議

多職種による医療観察法関連業務で、心理士は多職種チームが協働するための重要な役割を担っている。医療観察法の多職種チーム(MDT)会議や地域支援会議(CPA・ケア会議)、一般病棟での鑑定会議に参加して、情報を共有し役割を分担、協働している。鑑定MDT会議は医療観察法鑑定ケースで開催される。令和5年度の医療観察法鑑定は1件であった。また、計上はしていないが、各病棟の治療カンファレンスへ参加し、他職種と必要に応じて心理的な視点からの情報提供や役割の分担、協働を行っている。なお、一般医療業務と医療観察法業務の内訳は以下の通りである。

精神保健福祉法	MDT 会議 (支援会議含む)	17	合計 234 回 (前年度比 80%)
	鑑定 MDT	5	
医療観察法	MDT	182	
	CPA 会議	30	

## 4) その他

医療観察法病棟心理職の業務には散歩・外出や外泊の付き添いも加わる。対象者のステージ(急性期・回復期・社会復帰期)によって変動があり、令和5年度は散歩・外出43回で、外泊の付き添いは0回であった。

(4) 検査課 (臨床検査関係)

① 職員体制

臨床検査技師 2 人 (正規職員 2 人)

② 概要

○業務目的

内部および外部精度管理を実施し、日々機器の状態を把握することで、正確な検査結果を提供する。また、患者サービス向上のため迅速に検体処理を行い、外来診察前に結果報告が出来る様、日々業務に取り組むことを目的とする。

○業務内容

- ① 検体検査：生化学検査・血液検査・血清検査・一般検査・細菌検査
- ② 生理検査：心電図・脳波

【資料1】月別検査件数 (項目数)

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計	前年対比
生化学検査	6,512	7,577	7,863	7,454	8,255	7,991	7,353	7,952	7,402	7,434	8,224	7,959	91,976	87,113	105.6%
一般検査	1,564	2,181	2,174	1,933	2,081	1,802	2,053	1,876	1,777	1,772	1,621	1,835	22,669	27,451	82.6%
血液検査	2,616	3,079	3,250	2,958	3,392	3,171	2,967	3,315	3,086	3,063	3,387	3,245	37,529	35,318	106.3%
血清検査	462	701	560	635	672	628	564	610	545	594	587	615	7,173	6,495	110.4%
細菌検査	12	18	16	16	23	21	31	16	14	12	29	14	222	281	79.0%
病理検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
生理検査	96	115	109	102	130	98	99	109	106	101	101	111	1,277	1,199	106.5%
計	11,262	13,671	13,972	13,098	14,553	13,711	13,067	13,878	12,930	12,976	13,949	13,779	160,846	157,857	101.9%

\*新型コロナウイルス遺伝子検査件数は、血清検査を含む

【資料2】年度別検査件数

(単位：件)

		生化学	一般	血液	血清	細菌	病理	生理	合計	総数	
令和元年度	検体数	院内	5,317	2,305	5,184	1,234	135	0	1,170	15,345	17,206
		外注	715	13	59	1,013	61	0	0	1,861	
	項目数	院内	77,676	25,575	30,295	1,342	137	0	1,170	136,195	142,741
		外注	1,436	13	112	4,800	185	0	0	6,546	
令和2年度	検体数	院内	5,205	2,335	5,046	1,053	138	0	1,277	15,054	16,723
		外注	612	8	58	933	58	0	0	1,669	
	項目数	院内	73,998	35,045	29,391	1,365	139	0	1,277	141,215	146,643
		外注	976	8	67	4,171	206	0	0	5,428	
令和3年度	検体数	院内	6,083	2,324	5,842	1,914	119	0	1,409	17,683	19,580
		外注	676	14	117	1,067	23	0	0	1,897	
	項目数	院内	86,602	34,659	34,371	2,147	119	0	1,409	159,307	165,531
		外注	1,030	14	136	4,965	79	0	0	6,224	
令和4年度	検体数	院内	6,272	1,844	5,983	1,906	124	0	1,199	17,328	20,526
		外注	975	8	70	1,050	51	0	0	2,154	
	項目数	院内	86,203	27,443	35,224	2,012	124	0	1,199	152,205	157,857
		外注	910	8	94	4,483	157	0	0	5,652	
令和5年度	検体数	院内	6,659	1,500	6,360	2,190	145	0	1,277	18,131	20,205
		外注	988	14	25	1,021	26	0	0	2,074	
	項目数	院内	90,647	22,655	37,492	2,295	145	0	1,277	154,511	160,846
		外注	1,329	14	37	4,878	77	0	0	6,335	

(検体数=被検査人数)

\*新型コロナウイルス遺伝子検査項目数・検体数は、血清検査を含む

(5) 検査課 (放射線)

①職員体制

正規職員 1名 会計年度職員 1名

②業務

入院時の一般撮影・骨密度測定・頭部CT検査および入院患者様の検査を行っている。

CT画像の読影は、VPNによる遠隔読影により県立がんセンターに依頼している。

③月別検査人数

(単位：人数)

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	57	74	68	68	84	74	83	97	74	73	62	72	886
CT	37	51	47	50	60	55	48	57	55	52	50	53	615
計	94	125	115	118	144	129	131	154	129	125	112	125	1501

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	72	81	86	76	69	75	73	77	46	67	54	61	837
CT	45	56	62	53	48	48	53	56	48	58	44	50	621
計	117	137	148	129	117	123	126	133	94	125	98	111	1458

④部位別年度比較

(単位：件)

一般撮影		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸部	2023年度	42	64	54	54	68	49	57	71	59	58	48	55	679
	2022年度	50	62	64	53	52	46	45	55	40	53	38	49	607
腹部	2023年度	53	67	52	53	64	56	64	69	64	58	53	57	710
	2022年度	60	67	69	60	53	60	62	67	40	56	43	54	691
その他	2023年度	0	3	7	14	6	12	11	23	7	14	3	1	101
	2022年度	8	5	5	10	1	5	14	12	2	10	11	3	86
歯科	2023年度	3	1	3	4	7	7	10	6	4	2	4	7	58
	2022年度	1	2	6	4	1	4	1	2	2	0	1	2	26
骨密度	2023年度	29	42	32	40	40	38	34	46	36	41	38	38	454
	2022年度	28	28	46	30	27	36	32	37	32	27	22	34	379
合計	2023年度	127	177	148	165	185	162	176	215	170	173	146	158	2002
	2022年度	147	164	190	157	134	151	154	173	116	146	115	142	1789

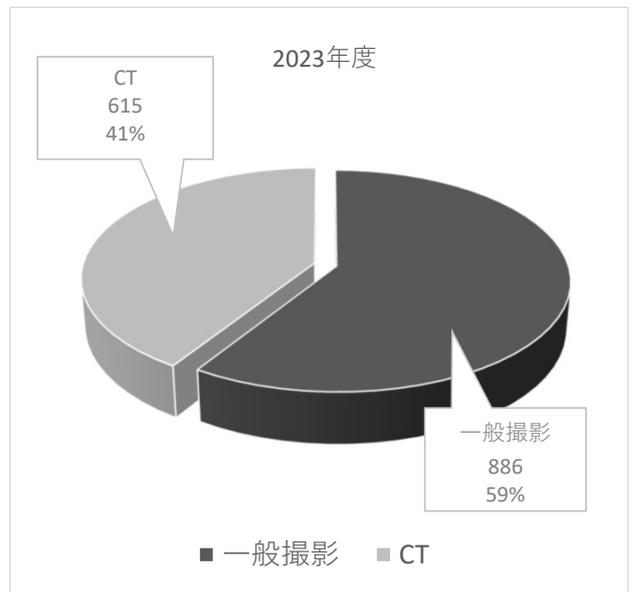
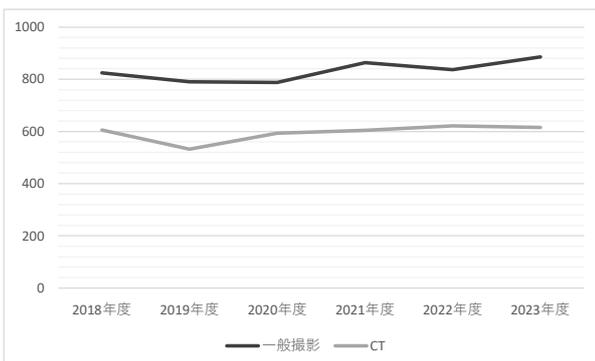
CT		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	2023年度	35	51	43	47	57	54	47	53	50	47	47	50	581
	2022年度	36	46	57	47	37	45	44	52	44	43	40	47	538
胸部	2023年度	2	1	2	4	4	1	2	0	6	3	3	2	30
	2022年度	8	13	4	6	9	3	11	7	4	11	6	1	83
腹部	2023年度	0	1	2	2	1	0	0	4	6	2	3	2	23
	2022年度	2	2	2	2	5	2	6	3	2	6	2	3	37
その他	2023年度	0	1	0	1	1	0	0	0	3	2	1	0	9
	2022年度	0	0	1	1	2	0	0	1	2	2	2	2	13
合計	2023年度	37	54	47	54	63	55	49	57	65	54	54	54	643
	2022年度	46	61	64	56	53	50	61	63	52	62	50	53	671

(単位：件)

区分	2023年度	2022年度	増減	前年比
一般撮影	2002	1789	213	111.9%
CT	643	671	▲28	95.8%

(単位：人)

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
一般撮影	825	790	788	864	837	886
CT	606	532	594	604	621	615



## (6) 栄養調理課

### ① 職員体制

管理栄養士 4 人（正規 2 人、会計年度任用 2 人）

調理師 4 人（正規 4 人）

委託会社：(株)LEOC（6 月まで）

コンパスグループ・ジャパン(株)（7 月～）

### ② 主な業務内容

#### ○給食管理

「安心・安全な食事の提供」「楽しく美味しい食事の提供」の 2 点を目標に HACCAP 及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理を実施し食事提供を実施している。

現在、給食業務については一部業務委託を実施しており、円滑に給食管理業務が実施できるよう委託会社と日々協議し業務を実施している。

献立内容の充実については、催事に合わせた行事食のほかに、季節や食事アンケートにて希望の多い料理等を「四季折々御前」として提供している。加えて誕生日には該当者へメッセージカードをスイーツとともに提供している。

災害時等に給食提供体制が継続できるよう、備蓄食品を備えている他、配食業者及びコンビニエンスストアと代替給食に関する覚書を締結している。備蓄食品については当院にて開発（県立総合病院研究費にて平成 28 年に開発）したレトルト粥を採用し、ローリングストック法で病院給食にも計画的に活用している。

#### ○栄養管理

栄養管理計画書を作成し、入院時及び入院中の栄養状態のモニタリングを行っている。栄養再評価内容に基づき提供食種の見直し等を実施している。

また、ミールラウンドを主に昼食時に実施し、食事摂取状況の確認を行い、食形態の変更等安全な食事の提供を実施している。加えて適宜ベットサイドに訪問しアレルギーの聞き取りや食事形態の確認を実施している。

また、医師の指示に基づき入院中及び外来時に個人栄養指導を実施している。加えて多職種プログラムやデイケアプログラムにて他職種と連携し集団栄養指導を実施している。

#### ○栄養委員会の開催

適切な栄養管理と円滑な給食運営を図るために毎月開催し、多職種で検討をしている。

### ③ 月別給食実施状況

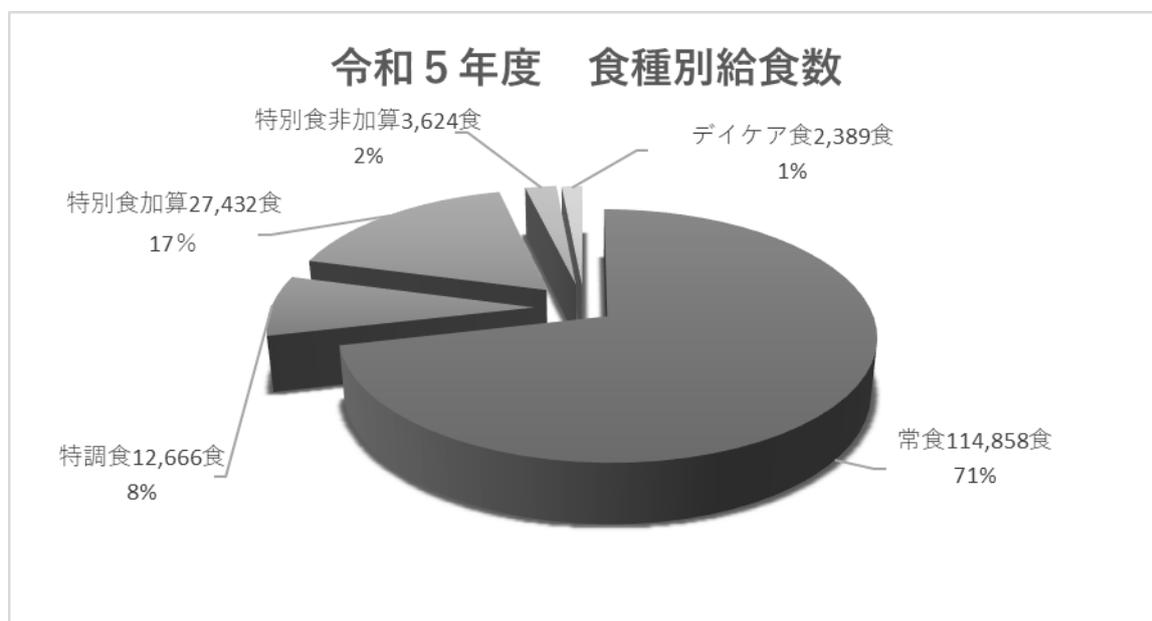
(食)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
一般食	常食	9,382	9,300	9,286	8,971	9,518	9,773
	特調食	649	786	958	1,455	1,290	987
特別食	加算	1,538	1,789	1,701	2,098	2,522	2,505
	非加算	353	391	328	347	366	323
デイケア食		171	176	198	204	205	189
計		12,093	12,442	12,471	13,075	13,901	13,777

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度比
10,219	9,264	9,826	10,180	9,282	9,857	114,858	98.6%
770	918	1,053	1,003	1,263	1,534	12,666	73.1%
2,526	2,313	2,560	2,555	2,401	2,924	27,432	127.5%
102	186	346	308	263	311	3,624	125.1%
202	227	227	200	173	217	2,389	107.5%
13,819	12,908	14,012	14,216	13,382	14,843	160,969	99.6%

※特別食の41%は糖尿病食である。続いて貧血食、脂質異常食、腎臓病食、潰瘍食の順に多い。

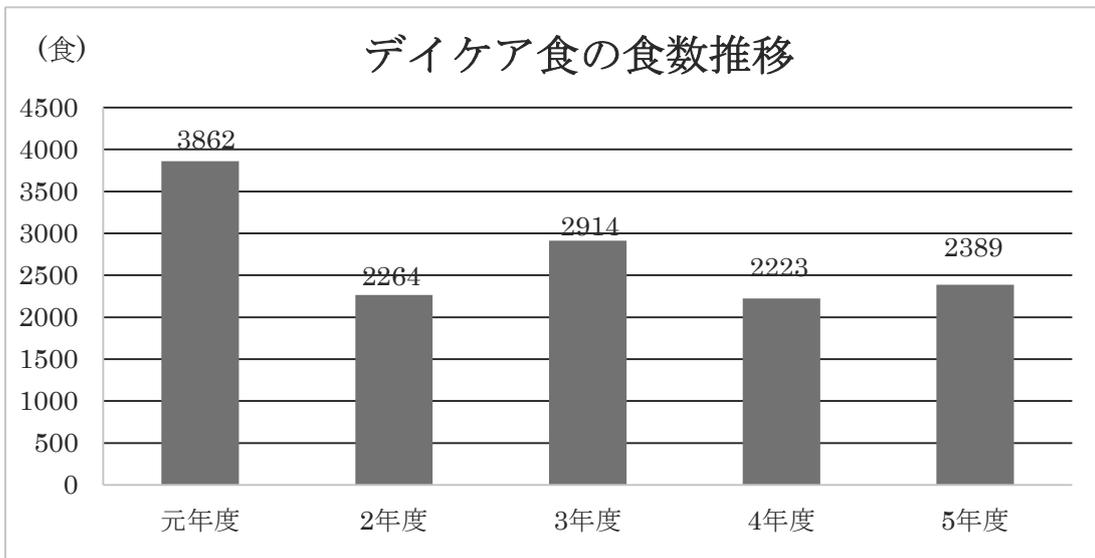
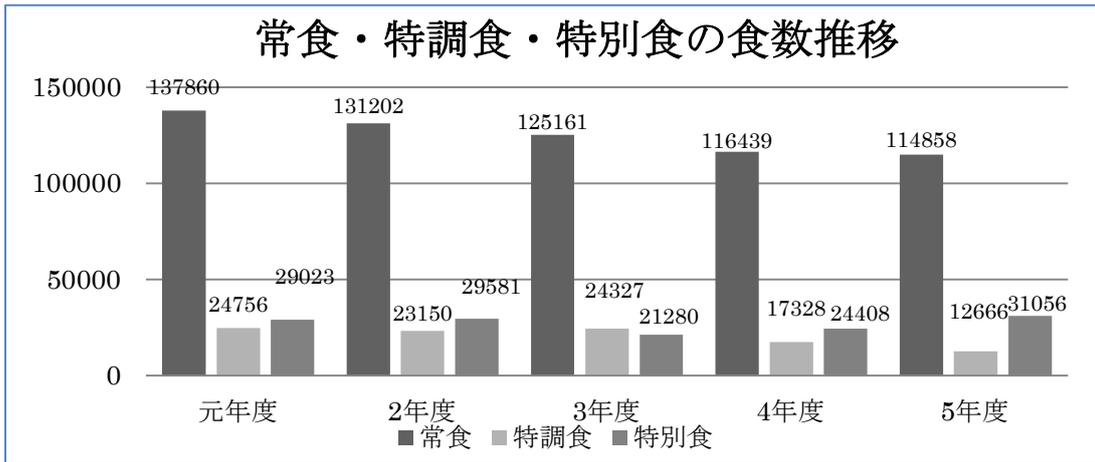
※デイケア食・・・・・・外来デイケア参加者に提供した昼食



#### ④ 年度別給食実施状況

(食)

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
一般食	常食	137,860	131,202	125,161	116,439	114,858
	特調食	24,756	23,150	24,327	17,328	12,666
特別食	加算	25,692	24,672	18,287	21,511	27,432
	非加算	3,331	4,909	2,993	2,897	3,624
デイケア食		3,862	2,264	2,914	2,223	2,389
計		195,501	186,197	173,682	160,398	160,969



## (7) 薬剤部

### ① 職員体制

薬剤師7人(正規職員5人、臨時職員2人)、薬剤助手1人

### ② 主な業務

#### ○調剤業務

拒薬や服薬ミスなどを防止するために、入院処方(一部の頓服を除く)は処方ごとに一包化調剤を行った。持参薬も医師の指示に基づき一包化に再分包を行った。外来は原則、院外処方であり、令和5年度の院外処方せん発行率は99.4%であった。

#### ○薬剤管理指導業務

医師の依頼に基づき薬剤管理指導を行い、薬の効果、飲み心地、副作用の確認や服薬自己管理の指導などを行った。令和5年度薬剤管理指導総数は1454件であった。

#### ○医薬品在庫管理業務

各病棟、外来における配置薬の定数を見直して適正在庫に努めるとともに、在庫数や使用期限のチェックを定期的に行った。定数医薬品は極力病院局共通品へ変更し、医薬品の有効活用を推進した。

医薬品管理システムの更新では、業務の効率化を図り、改善を行った。臨時に購入する医薬品は、原則後発品とし、その都度包装形体・単位を選択することにより在庫量を最小限に抑えた。

#### ○ODI業務

医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報(DSU)、副作用情報、添付文書の改訂、製造・販売中止等の情報の収集・整理・周知を行った。「院内医薬品集」(令和5年10月1日現在)を発行した。

#### ○チーム医療

多職種チーム治療プログラムにおいて、薬に関するセッションを担当し、集団疾病教育を行った。慢性期病棟では「お薬知っ得コーナー」、医療観察法病棟では「おくすり教室」を行った。また、疾病教育プログラムの一環として、患者だけでなくその家族も対象として指導を行った。

R4年度より、急性期病棟で実施している「社会生活力プログラム」に参入し、指導を開始した。

医療観察法病棟業務では、薬剤管理指導にとどまらず薬剤師もMDTの一員としてMDT・CPA会議等の業務に参画した。

治療抵抗性統合失調症治療薬「クロザピン」での治療は平成23年9月から開始し、令和6年3月31日現在で122症例投与した。そのうち91症例が治療を継続している。当院の薬剤師は全員がクロザピル管理薬剤師及びCPMSコーディネート業務担当者としてCPMSに登録しており、二次承認はすべて薬剤部で行っている。

その他、各種委員会(医療安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、院内感染防止対策委員会、褥瘡対策委員会、クロザピン委員会、臨床検査委員会、ECT管理委員会等)に参加した。

#### ○薬事委員会

6月、9月、11月、3月に開催した。令和5年度は22品目を新規採用し、25品目を削除した。令和6年3月31日現在で採用医薬品数は345品目となり、うち後発医薬品は174品目であった。採用率は品目ベースで60.8%、全購入金額ベースで7.2%、また、後発医薬品指数は98.9%であった。

### ③ 調剤及び注射剤の状況

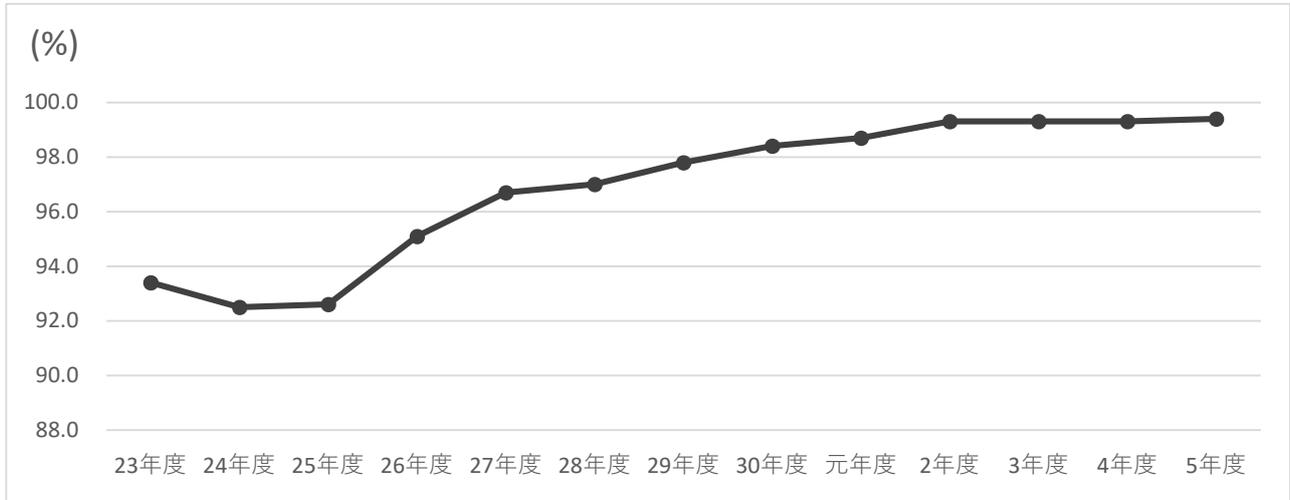
令和5年度		4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	上期計
入院	処方箋枚数	1447	1595	1747	1689	1863	1747	10088
	うち麻薬	0	0	0	0	0	0	0
	調剤数	2829	3149	3534	3443	3830	3544	20329
	投薬延日数	17924	18541	19588	18151	20483	19091	113778
外来	処方箋枚数	7	13	10	14	12	11	67
	調剤数	24	31	30	32	19	21	157
	投薬延日数	896	382	386	500	302	430	2896
計	処方箋枚数	1454	1608	1757	1703	1875	1758	10155
	調剤数	2853	3180	3564	3475	3849	3565	20486
	投薬延日数	18820	18923	19974	18651	20785	19521	116674
薬剤情報提供(外来)		2	1	4	7	6	5	25
服薬指導総数		141	133	142	177	136	128	857
薬剤管理指導レセプト件数		90	103	103	109	113	104	622
退院時薬剤情報提供		0	0	0	0	0	0	0
注射剤	入院注射箋枚数	126	163	222	123	230	198	1062
	外来注射箋枚数	205	202	205	203	232	206	1253
	合計注射箋枚数	331	365	427	326	462	404	2315
	注射本数	613	799	1041	610	984	817	4864
その他 薬品請求	品目数	43	38	44	34	39	38	236
	本数	171	153	176	117	125	148	890
持参薬	分包依頼数	13	23	16	16	5	14	87
	1包化日数	117	252	245	213	33	105	965
	情報提供件数	9	15	13	6	9	11	63
	チェック件数	30	34	34	18	19	31	166
	相互作用識別剤数	90	138	71	47	33	110	489
院外処方箋発行率(%)		99.7	99.4	99.5	99.3	99.4	99.5	99.5

令和5年度		10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	下期計	R5年度計
入院	処方箋枚数	1728	1667	1779	1640	1715	1823	10352	20440
	うち麻薬	0	0	0	0	0	0	0	0
	調剤数	3526	3504	3559	3419	3533	4077	21618	41947
	投薬延日数	19473	18867	21890	17445	18864	19645	116184	229962
外来	処方箋枚数	13	19	16	14	16	15	93	160
	調剤数	26	46	37	29	30	23	191	348
	投薬延日数	311	671	636	590	543	336	3087	5983
計	処方箋枚数	1741	1686	1795	1654	1731	1838	10445	20600
	調剤数	3552	3550	3596	3448	3563	4100	21809	42295
	投薬延日数	19784	19538	22526	18035	19407	19981	119271	235945
薬剤情報提供(外来)		4	6	7	6	6	5	34	59
服薬指導総数		180	145	184	182	151	157	999	1856
薬剤管理指導レセプト件数		116	122	129	138	126	131	762	1384
退院時薬剤情報提供		0	0	0	0	0	0	0	0
注射剤	入院注射箋枚数	235	138	188	225	163	172	1121	2183
	外来注射箋枚数	187	190	195	184	190	188	1134	2387
	合計注射箋枚数	422	328	383	409	353	360	2255	4570
	注射本数	994	662	915	924	775	831	5101	9965
その他 薬品請求	品目数	49	42	47	39	37	38	252	488
	本数	165	160	172	166	117	129	909	1799
持参薬	分包依頼数	10	8	13	13	15	3	62	149
	1包化日数	110	52	111	126	122	21	542	1507
	情報提供件数	7	9	8	4	17	3	48	111
	チェック件数	21	23	25	20	28	9	126	292
	相互作用識別剤数	46	61	98	64	173	39	481	970
院外処方箋発行率(%)		99.4	99.1	99.2	99.3	99.2	99.3	99.3	99.4*

\* 年間発行率

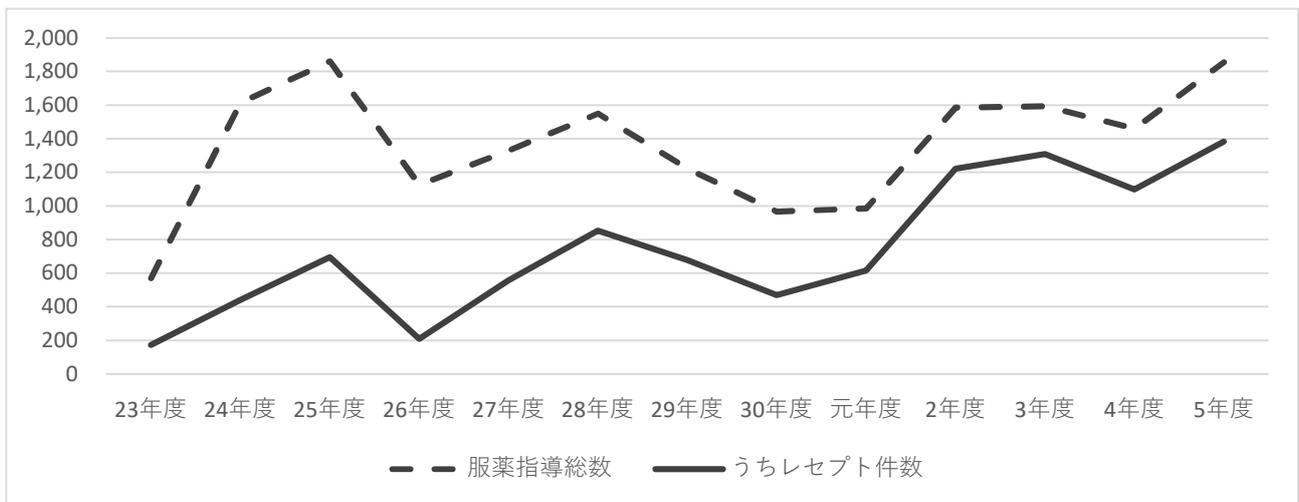
④ 院外処方箋発行率

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
発行率(%)	93.4	92.5	92.6	95.1	96.7	97.0	97.8	98.4	98.7	99.3	99.3	99.3	99.4



⑤ 年度別服薬指導数

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
服薬指導総数	571	1,615	1,861	1,127	1,329	1,550	1,223	966	985	1,587	1,593	1,461	1,856
うちレセプト件数	173	441	695	208	557	852	679	469	616	1,221	1,309	1,097	1,384



⑥ 集団指導

対象病棟	プログラム名	内 容	回 数	参加人数
A 病 棟	知っ得コーナー	薬の話	2 回	30 人
B 病 棟	知っ得コーナー	頓服薬について	1 回	14 人
E、G 病棟	社会生活力プログラム	薬について	8 回	134 人
S 病 棟	おくすり教室	「不穏時薬について」等	9 回	78 人
各 病 棟	疾病教育プログラム	薬の話	26 回	145 人

⑦ 医療観察法病棟関連

対象者数	薬剤管理指導のべ回数	MDT・CPA 会議等のべ回数
12 人	42 回	194 回

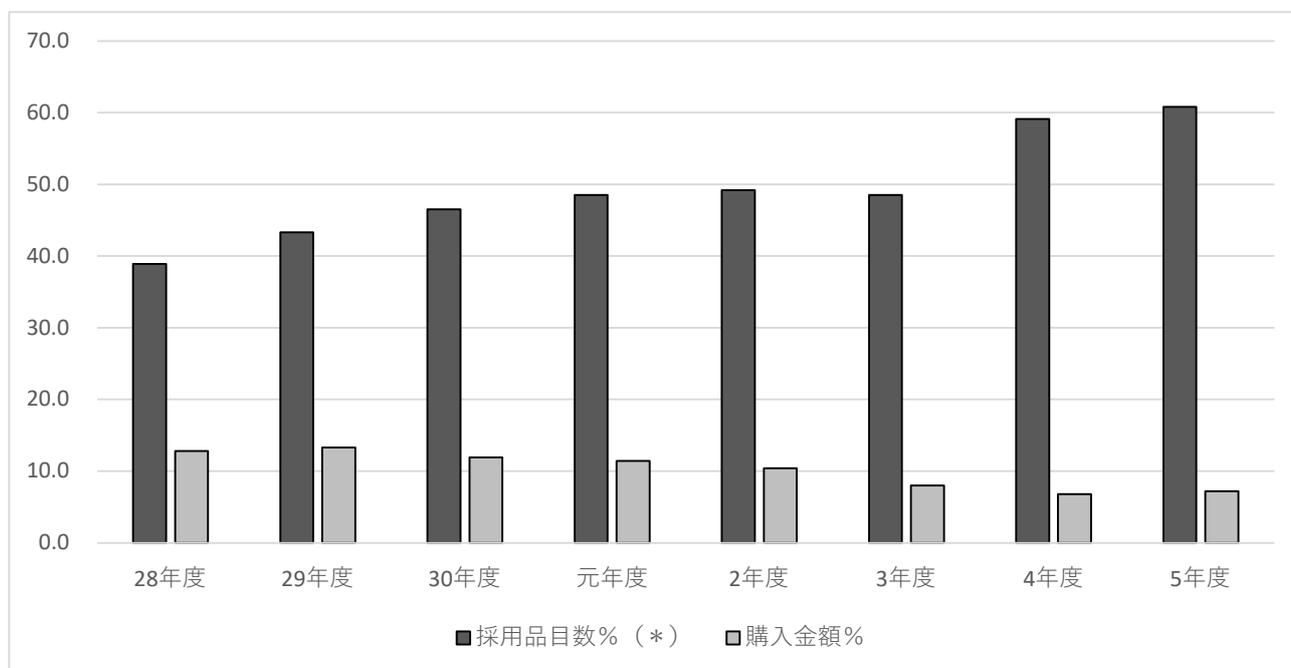
⑧ 「DI NEWS」発行状況

号数	トピックス	号数	トピックス
269 号	2022 年度 全国向精神薬処方調査結果	275 号	名称類似薬に関するヒヤリ・ハット
270 号	クロザリルの増量について	276 号	ラモトリギンの適正使用のお願い
271 号	出荷再開のお知らせ	277 号	年末年始は感染症に注意
272 号	限定出荷・出荷停止等のお知らせ	278 号	経口抗凝固薬による急性腎障害について
273 号	統合失調症患者への頓服薬使用の影響	279 号	レキササルティOD錠の適応追加のお知らせ
274 号	医薬品採用・削除	280 号	医薬品採用・削除

⑨ 後発医薬品購入状況

年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
採用品目数% (*)	38.9	43.3	46.5	48.5	49.2	48.5	59.1	60.8
購入金額%	12.8	13.3	11.9	11.4	10.4	8.0	6.8	7.2

(※) 剤形・規格の異なるものは別品目として、バラ錠とヒートシール、分包品と非分包品は同一品目とする。



## (8) 訪問看護

### 1) 職員体制

看護師5人(正規4人・嘱託1人)

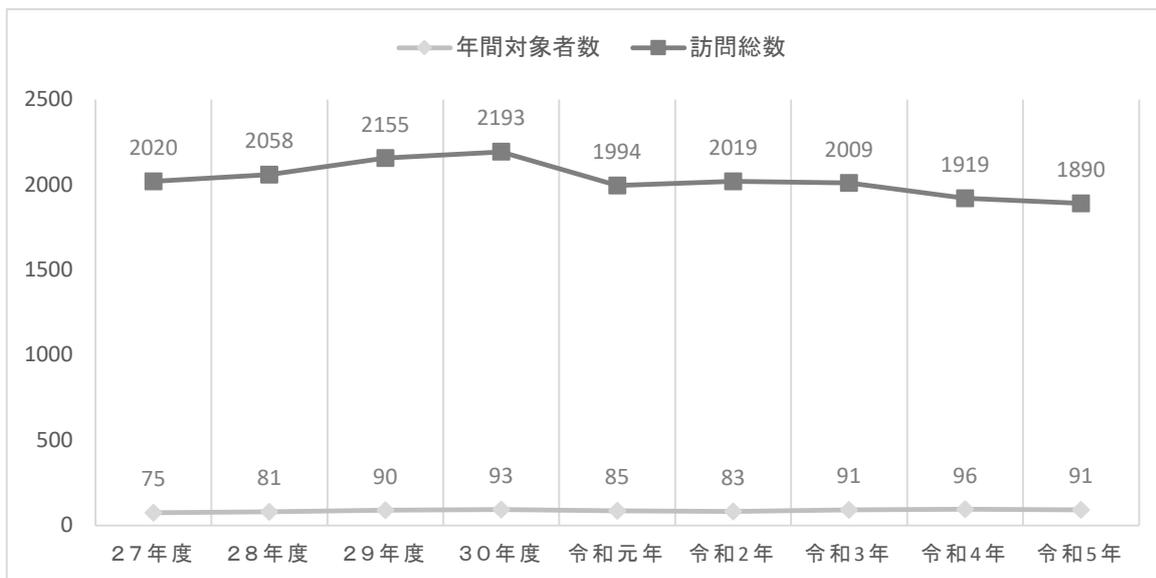
### 2) 活動内容

#### ①活動理念

地域においてその人らしい生活を送れるよう支援する

### 3) 月別の推移、年度別推移

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪問対象人員	97	97	93	88	90	88	88	94	94
訪問延日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20
訪問延回数	167	161	172	150	165	144	160	154	162
区分 \ 月	1月	2月	3月	計	前年計	前年比			
訪問対象人員	90	92	90	1,101	1,169	94%			
訪問延日数	19	19	20	243	243	100%			
訪問延回数	147	151	157	1,890	1,919	98%			



### 4) 訪問看護の年度別推移

区分	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
訪問対象実人員	75	81	90	93	85	83	91	96	91
訪問延日数	244	243	246	244	240	244	240	243	243
訪問延回数	2,020	2,058	2,155	2,193	1,994	2,019	2,009	1,919	1,890

## (9) 歯科

### ① 職員体制

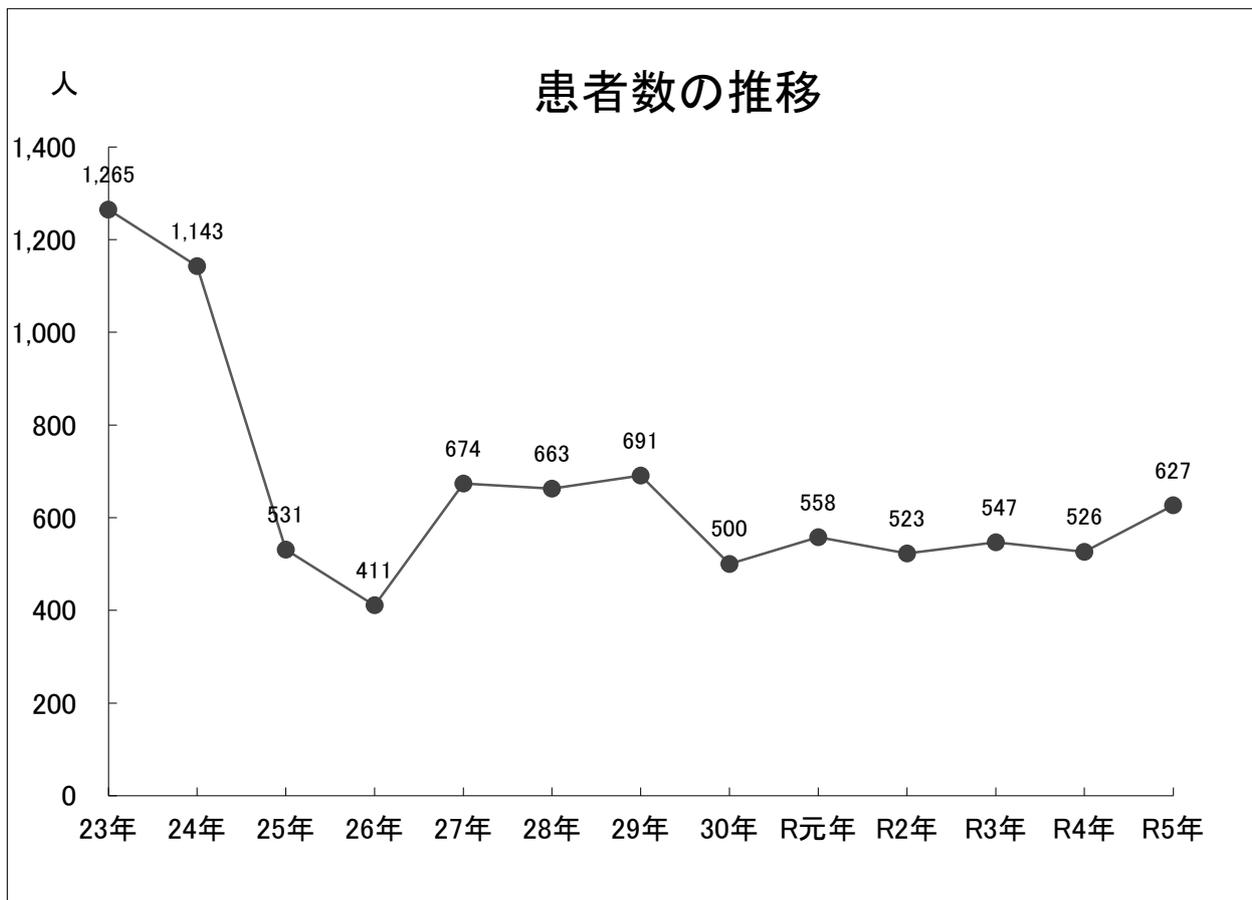
歯科医師 1 人（臨時 1 人）、歯科衛生士 1 人（臨時 1 人）

### ② 月別の推移

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診療日数（日）	6	7	7	7	8	7	8	7	8	7	6	7	85
患者延人数（人）	31	29	36	46	70	63	78	61	51	49	44	69	627
1日平均患者数（人）	5.2	4.1	5.1	6.6	8.8	9.0	9.8	8.7	6.4	7.0	7.3	9.9	7.4

### ③ 年度別の推移

区分 \ 月	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
診療日数（日）	230	174	81	87	100	94	88	79	97	92	95	90	85
患者延人数（人）	1,265	1,143	531	411	674	663	691	500	558	523	547	526	627
1日平均患者数（人）	5.5	6.6	6.6	4.7	6.7	7.1	7.9	6.3	5.8	5.7	5.8	5.8	7.4



## (10)医療安全管理室

①医療安全管理体制 . . . . . 別表体系図のとおり

②医療事故及びヒヤリ・ハット事例報告件数

レベル	年度	R元	R2	R3	R4	R5
ヒヤリ・ハット事例	0	349	455	400	539	398
	1	243	258	228	303	323
	2	156	145	107	118	119
	3a	16	16	19	28	23
医療事故	3b	2	1	1	2	1
	4a	0	0	0	0	0
	4b	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0
合計		766	875	755	990	864

a.報告件数の多い内容(令和5年度:件数及び構成比、前年度比)

- i. 観察264件(構成比30.6%、前年度比19.8%減少): 自傷行為、暴力や器物損壊、その他には、暴言や暴力未遂など暴力関連(40件)などが含まれる。
- ii. 転倒・転落121件(構成比14.0%、前年度比12.0%増加): 精神科においても高齢化が進み転倒の要因の1つとなっている。また、同一患者が繰り返すケースや精神症状悪化による突発的な行動や内服の影響によるふらつきからの転倒も多い。
- iii. その他108件(構成比13.0%、前年度比28.7%増加): その他の項目は「どの分類にも属さないもの」と定義されており、具体的には、敷地内での喫煙者やタバコの吸い殻発見(22件)、鍵・危険物・ラウンドチェック表のサイン漏れ(15件)などであった。

b.レベル別状況

- ・レベル別では、0レベルが前年度比で141件(26.2%)と減少した。
- ・レベル1は前年度比で18件(5.9%)増加、レベル2は前年度比で3件(2.6%)増加した。
- ・レベル3aは前年度比で5件(17.9%)減少した。

c. 与薬(内服・外用)87件(構成比10.1%、前年度比36.5%減少): 非自発的入院など患者の特性上、内服後の吐き出しや、服用時落としてしまったものの発見、内服自己管理中や外泊時の内服間違い報告などである。

d. レベル0レポートは、令和4年度と比較して141件減少しているが、要因として、KYT(危険予知トレーニング)を展開して対策していることが効果を上げており「ヒヤリ」「ハット」する場面が減少した結果でもある。

③事例報告の院内における活用状況

- a. 院内医療安全管理委員会では、レベル3a以上の全件報告と対策を検討、また、レベルの大きい事案だけでなく、問題と思われる事案を共有している。さらに各部署の長より事象の問題と対策、その後の経過などを報告している。
- b. 事例報告時、各部署リスクマネージャーと事故が発生した背景・要因、改善策について再検証し、必要時には具体的な改善策の提案及び推進をしている。
- c. 早急な対応や共有が必要な事案は、看護部では看護管理室報告(1日1回師長が集合)時、他部署には電子カルテメール等でタイムリーに情報共有している。

#### ④医療安全における課題と対応策について

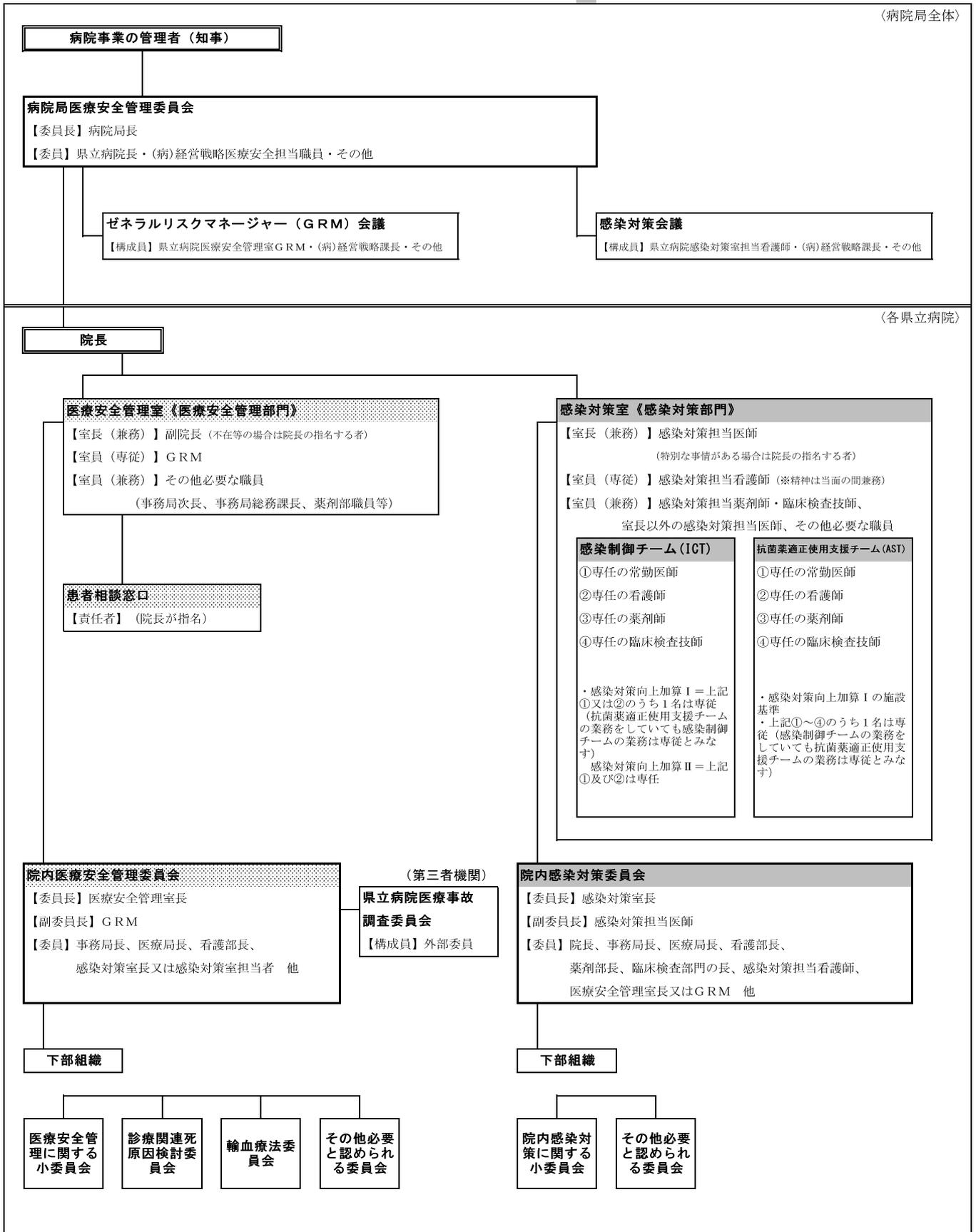
- a.安全文化の醸成【ヒヤリ・ハット(0レベル)報告の活用】  
報告の数を増やすだけでなく、類似事案の繰り返しや事故に繋がらないようさらに活かしていく必要がある。事例分析手法の強化やリスク感性を高めるための研修会を実施している。
- b.暴力防止活動の推進【介入の正当化】  
CVPPP(包括的暴力防止プログラム)での身体介入時の事前打ち合わせと介入後の振り返り、の充実を図り正当性を確保している。女性トレーナー・女性スタッフへの研修を強化している。
- c.未確認防止【患者誤認による服薬間違い】  
指差し呼称を徹底。服薬時のロールプレイを実施している。また、患者誤認防止研修と自己評価シートで自己の行動、傾向を知る。
- d.情報・記録  
入力前、入力時の確認だけでなく、登録前の再確認指差し呼称を徹底している

#### ⑤ 医療安全推進週間(各部署KYTの取り組み発表)



医療安全管理体制体系図

※ …医療安全管理の診療報酬施設基準上設置が必要な組織  
 ※ …感染対策の診療報酬施設基準上設置が必要な組織



## (11) 地域医療連携室

### ① 職員体制

室長 医療局長（兼務）  
室員 医療福祉課長・医事課長・看護師長（3人兼務）

### ② 業務内容

群馬県の精神科基幹病院として他の精神科医療機関や関係機関と連携し、地域医療連携室を通して次のような業務を行っている。

- 1) 本人、家族からの相談の他、地域の医療機関や保健福祉事務所、市町村など関係機関から紹介された受診相談及び入院相談の専用窓口。
- 2) 患者の退院に際して地域での生活が安心して過ごせるように、こころの健康センター・地域の医療機関・保健福祉事務所・市町村保健センターをはじめ、相談支援事業所・福祉サービス事業所・介護保険関係者等と連携し、支援会議を開催している。

### ③ 受診相談件数等

入院相談			外来相談		
相談数	受診者数	入院者数	相談数	受診者数	入院者数
150	74	63	672	280	4

その他			相談合計		
相談数	受診者数	入院者数	相談数	受診者数	入院者数
0	0	0	822	354	67

※受診者数及び入院者数は各相談件数の内数です。

## (12) 患者相談窓口

### ① 業務内容

群馬県病院局医療安全に関する規程に基づき、医療福祉課内に患者相談窓口を設置している。

- 1) 患者相談窓口では、直接相談等を受け付けるほか、病院内各部門で対応が完結しないもの等を引き継ぎ対応している。
- 2) 医療福祉課、医事課、地域医療連携室、医療安全管理室、診療情報管理室、総務課からなる専門セクションと連携し、定期的カンファレンスを行っている。

### ② 職員体制

責任者 副院長  
窓口担当者 精神保健福祉士、総務課長、医事課長

### ③ 相談件数

相談・苦情内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
疾病・治療に関すること	55	30	41	38
入退院・受診・セカンドオピニオン	19	14	8	18
日常生活の困りごと	45	12	10	7
社会資源の活用	3	3	9	7
経済問題	5	5	3	2
就労問題	3	3	0	0
住宅問題	2	0	5	0
家族問題	3	6	2	2
待ち時間	0	0	0	1
処方箋発行	0	0	0	0
服薬・薬剤情報	0	0	0	0
食生活・健康管理	0	0	0	0
他の患者とのトラブル	0	0	0	0
窓口対応・職員対応	0	1	1	4
会計のトラブル	0	0	0	2
医療費の支払い	1	3	2	3
カルテ開示	0	0	1	0
個人情報の扱い	1	0	1	0
施設・設備の不具合	0	0	0	0
苦情・クレーム	20	13	16	26
その他	34	34	49	34
計	191	124	148	122

### (13) 病院施設の貸出し

新型コロナウイルス感染症予防対策として貸出を中止していたが、当感染症が5類に移行したことに伴い、令和5年10月から貸出を再開。

地域の理解と協力を得るため、体育館を本来の目的を妨げない範囲で地域住民等に貸出しているほか、当院敷地の緑地帯は地域住民等へ開放している。